

LHD 実験週間報告

10 月 14 日～10 月 15 日 (第 1 週)

今週から第 23 サイクル実験が始まりました。例年どおり初週は LHD 本体、加熱装置、計測器の動作確認を兼ねたプラズマ実験を行いました。プラズマの生成は、電子サイクロトロン共鳴加熱装置、イオンサイクロトロン共鳴加熱装置、および、中性粒子ビーム入射加熱装置を用いて行い、安定したプラズマの立ち上げとその安定な維持を確認しました。また、計測装置やプラズマへの燃料供給装置も正常に動作することを確認しました。

機器の調整実験に加え、タンゲステン合金の耐熱負荷特性を調べる実験や、不純物パウダー落下装置を用いた不純物の輸送を調べる実験を行いました。また、ドイツのマックスプランク・プラズマ物理学研究所との国際共同研究として、ITER タイプの新しいガス圧計の試験、さらに、オランダ基礎エネルギー研究所 DIFFER との国際共同研究として、プラズマ中の粒子輸送を調べる実験を行いました。

高橋裕己